



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社 上場取引所 東
コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 英俊
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部 (氏名) 杉山 伸 本部長 TEL 03-3667-7811

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第1四半期	6,747	12.0	824	77.2	985	△21.3	720	△25.3
2024年3月期第1四半期	6,026	12.9	465	△2.1	1,251	105.8	963	100.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 625百万円(△50.7%) 2024年3月期第1四半期 1,267百万円(132.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.06	—
2024年3月期第1四半期	35.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第1四半期	33,138	24,109	72.5
2024年3月期	32,419	23,851	73.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 24,032百万円 2024年3月期 23,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	15.00	—	17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	27,700	7.0	2,000	△8.0	2,300	△28.2	1,700	△28.3	63.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	29,748,200株	2024年3月期	29,748,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,866,893株	2024年3月期	2,896,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	26,616,557株	2024年3月期1Q	26,851,846株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、景気の緩やかな回復基調が見られる一方で、海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、2024年4月に中期経営計画「CHANGE 2028」を策定し、1. 東南アジアでの事業拡大、2. フードサイエンス領域の事業創出、3. M&Aを軸とした成長投資、4. ビジョン実現に向けた強い組織づくり、5. IRの強化と株主還元の5つの重点テーマを掲げ、計画推進のスタートを切りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,747百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益824百万円（同77.2%増）、昨年は一過性の配当金があった反動で、経常利益985百万円（同21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は720百万円（同25.3%減）の増収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「精糖」、「機能性素材」、「不動産」、「その他食品」の4区分から、「精糖」、「機能性素材」、「不動産」の3区分に変更しております。セグメントごとの比較情報については、上記セグメント変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しております。報告セグメントの詳細につきましては、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。

① 精糖

海外原糖市況は、¢22.65で始まり、ブラジルの2024/25年砂糖生産の好調な滑り出しを受けて下落し、5月には¢17.95を付けました。その後、6月に入りブラジル、タイでの降雨不足やインドでの猛暑といった主要産糖国での天候不順が報告されたことに加え、国際砂糖機関ISOが2023/24年需給について需要増の見通しを発表しました。これらの情報を背景に投機筋の買戻しがあり、相場は緩やかに上昇し、6月末には¢20.31を付けました。

一方、国内製品市況は、期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）249円～251円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりました。製品の荷動きとしましては、4月は春の行楽需要などで土産物菓子中心に菓子類の販売が好調となりましたが、天候不順により6月は販売が低迷し、販売数量は前年同期比微減となりました。利益面では、原材料やエネルギーコストの高止まり、円安による製造コスト、物流コストが増加したものの、販売価格が連動して上昇した結果、増益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高3,320百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益609百万円（同69.0%増）の増収増益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材「イヌリン」の国内販売は、春夏発売の新商品への採用により、前年同期に比べ販売数量が増加しました。海外販売では引き続きタイ市場は健康食品向けを主として堅調に推移し、落ち込んでいたアジア諸国においても需要取込みを徐々に増やした結果、増収増益となりました。また、通販事業を本格的にスタートし、事業譲渡を受けた商品の販売を通じてノウハウを蓄積し、併せてイヌリンを主原料とした新商品開発を行いました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、主力のペクチン、ゼラチン、コラーゲンで販売数量が大きく伸長した結果、増収増益となりました。

以上の結果、機能性素材事業の業績は、売上高3,193百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益320百万円（同78.5%増）の増収増益となりました。

③ 不動産

昨年9月旧本社跡地にビジネスホテル「東横INN茅場町駅」を建設し、賃貸を開始し収益貢献したこと、その他物件も安定稼働した結果、売上高163百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益149百万円（同12.2%増）の増収増益となり、引き続き安定収益確保に貢献しました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、33,138百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ5.0%増加し、17,769百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ0.8%減少し、15,368百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ7.5%増加し、6,986百万円となりました。これは主に買掛金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1.3%減少し、2,042百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.1%増加し、24,109百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、2024年4月30日に開示しました連結業績予想に対して若干ながらプラスで推移しております。海外景気の下振れリスクや物価上昇が懸念される状況下、エネルギーコスト、物流コストの上昇などの業績下振れリスクを考慮した結果、2025年3月期の連結業績予想は修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,274,800	5,125,471
受取手形、売掛金及び契約資産	4,145,574	4,219,313
商品及び製品	3,835,520	3,729,878
仕掛品	152,729	250,747
原材料及び貯蔵品	1,475,543	2,057,188
リース投資資産	954,138	952,210
その他	1,085,800	1,436,802
貸倒引当金	△3,103	△2,086
流動資産合計	16,921,003	17,769,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	356,558	362,111
機械装置及び運搬具（純額）	370,402	368,442
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	4,083	10,685
その他（純額）	167,007	167,087
有形固定資産合計	3,425,487	3,435,762
無形固定資産		
その他	55,593	50,898
無形固定資産合計	55,593	50,898
投資その他の資産		
投資有価証券	9,654,764	9,535,163
長期貸付金	2,163	2,267
関係会社長期貸付金	1,902,500	1,902,500
退職給付に係る資産	126,532	133,413
その他	344,185	321,809
貸倒引当金	△13,112	△13,112
投資その他の資産合計	12,017,033	11,882,040
固定資産合計	15,498,114	15,368,701
資産合計	32,419,118	33,138,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,053,131	2,625,682
短期借入金	3,096,800	3,142,800
未払法人税等	349,434	231,588
未払消費税等	37,678	127,861
賞与引当金	173,538	91,369
その他	787,936	767,120
流動負債合計	6,498,520	6,986,423
固定負債		
繰延税金負債	1,412,885	1,394,869
資産除去債務	92,047	92,119
その他	564,269	555,195
固定負債合計	2,069,203	2,042,184
負債合計	8,567,723	9,028,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,102,408	2,124,513
利益剰余金	17,608,463	17,872,137
自己株式	△717,401	△710,095
株主資本合計	20,517,930	20,811,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,280,889	3,177,618
為替換算調整勘定	5,591	22,508
退職給付に係る調整累計額	20,907	21,358
その他の包括利益累計額合計	3,307,388	3,221,484
非支配株主持分	26,076	77,119
純資産合計	23,851,394	24,109,619
負債純資産合計	32,419,118	33,138,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,026,078	6,747,258
売上原価	4,652,424	4,900,128
売上総利益	1,373,654	1,847,130
販売費及び一般管理費	908,469	1,022,608
営業利益	465,184	824,521
営業外収益		
受取利息	8,373	9,695
受取配当金	755,992	121,932
為替差益	6,302	-
持分法による投資利益	16,057	46,891
その他	8,084	10,081
営業外収益合計	794,810	188,601
営業外費用		
支払利息	8,541	10,405
為替差損	-	14,140
その他	8	3,378
営業外費用合計	8,550	27,924
経常利益	1,251,444	985,198
特別損失		
固定資産除却損	2,924	22
解体撤去費用	3,932	-
特別損失合計	6,856	22
税金等調整前四半期純利益	1,244,588	985,176
法人税、住民税及び事業税	252,785	224,134
法人税等調整額	38,952	49,844
法人税等合計	291,737	273,979
四半期純利益	952,850	711,197
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,016	△8,957
親会社株主に帰属する四半期純利益	963,867	720,154

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	952,850	711,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315,994	△103,270
為替換算調整勘定	177	13,942
退職給付に係る調整額	882	450
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,497	2,974
その他の包括利益合計	314,557	△85,903
四半期包括利益	1,267,408	625,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,278,425	634,251
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,016	△8,957

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2024年4月1日付で組織変更を実施し、経営管理区分を変更いたしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「機能性素材」事業に含めていた「切花活力剤」を単一の事業セグメントとして認識し、「その他」セグメントに移管しております。また、従来報告セグメントに含めていた「その他食品」事業は、重要性が乏しいことから、報告セグメントに含まれない「その他」セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	精糖	機能性 素材	不動産	計			
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	3,090,317	—	—	3,090,317	—	—	3,090,317
食品添加物	—	47,581	—	47,581	—	—	47,581
機能性食品	—	2,671,405	—	2,671,405	—	—	2,671,405
切花活力剤	—	—	—	—	61,684	—	61,684
パン類等	—	—	—	—	11,700	—	11,700
顧客との契約から 生じる収益	3,090,317	2,718,986	—	5,809,304	73,384	—	5,882,689
その他の収益	—	—	143,389	143,389	—	—	143,389
外部顧客への売上高	3,090,317	2,718,986	143,389	5,952,693	73,384	—	6,026,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,541	—	1,499	5,040	9,932	△14,973	—
計	3,093,859	2,718,986	144,888	5,957,734	83,317	△14,973	6,026,078
セグメント利益	360,541	179,416	133,005	672,963	21,837	△229,616	465,184

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額△229,616千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	精糖	機能性 素材	不動産	計			
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	3,320,983	—	—	3,320,983	—	—	3,320,983
食品添加物	—	57,014	—	57,014	—	—	57,014
機能性食品	—	3,136,455	—	3,136,455	—	—	3,136,455
切花活力剤	—	—	—	—	66,930	—	66,930
パン類等	—	—	—	—	1,976	—	1,976
顧客との契約から 生じる収益	3,320,983	3,193,469	—	6,514,453	68,906	—	6,583,359
その他の収益	—	—	163,899	163,899	—	—	163,899
外部顧客への売上高	3,320,983	3,193,469	163,899	6,678,352	68,906	—	6,747,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,777	—	1,499	5,277	8,429	△13,707	—
計	3,324,761	3,193,469	165,399	6,683,630	77,335	△13,707	6,747,258
セグメント利益	609,391	320,181	149,245	1,078,818	21,672	△275,969	824,521

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額△275,969千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	47,413千円	45,734千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。